

岡山大学文学部 文化講演シリーズ

## ニホンガク 最前線 ⑦

日時

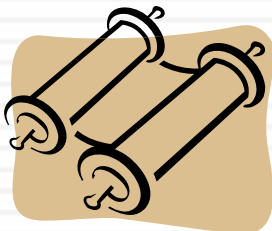
2015年1月30日(金)

場所

17:00～18:30  
岡山大学文学部会議室  
(文法経1号館 2階)



### 杭州寺院における入宋僧と 日本仏教の動向



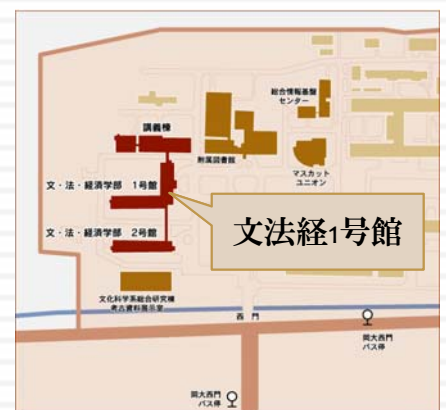
王海燕 (浙江大学人文学院歴史学部・副教授)

中国の杭州は、中国浙江省の北部に位置する交通の要所です。銭塘江に臨み、大運河の南端にある都市として、南宋時代には首都となりました。また仏教の要地でもあることから、唐代より杭州に滞在した高僧も少なくありません。鑑真も律を講じたことがあります。最澄や空海に代表される入唐僧らの関心は薄かったようです。しかし、宋代になると、入宋僧らの記録の中に、杭州および杭州仏教の事情がしばしば見られるようになりました。

本講演では、入宋僧の一人である成尋の『参天台五臺山記』をもとに、当時の杭州仏教のみならず、日本仏教の動向についても考察します。

入場無料・予約不要

日本語による講演です



主催 岡山大学文学部

お問い合わせ

社文研総務グループ・庶務担当 086-251-7345

今津 勝紀 kimazu@cc.okayama-u.ac.jp